

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月21日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭栄高等学校長 荻 島 勝 幸

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1 自主的・主体的に学ぼうとする意欲を高める学習指導の改善充実
2 充実した学校生活を目指す健康・安全指導の充実強化
3 進路意識の高揚と将来の望ましい自己実現を可能とする能力の伸長
4 新たな研修制度への対応
5 明るく事故のない職場環境の構築

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	ア ICT機器を活用し、生徒の自発的、意欲的な学習態度の育成を図り、学力向上に努める。 イ 「主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組み、生徒に成就感を持たせる指導に努める。 ウ 「総合的な探究の時間」により、体験を通じた実践力の育成に努め、ポートフォリオ等の作成を推進する。 ○ 1年を通して職員室全体でICT活用の努力をし、それにより主体的な学習への取組にも成果を得ることができた。	適切な評価をしている。 主体的に学ぶ意欲が育っていることがうかがえる。 不登校経験者が多い中、それぞれの学力に差があると思われるが、個々の学力に合わせて指導がなされている。 生徒アンケートから、生徒の主体的取組が十分に高いレベルにあると思われる。 授業改善の工夫がなされ、成果を出していると思う。
改善方策	・ICT活用については、教職員間での校務での活用や授業実践例などを共有し、より一層の向上を目指す。	
生徒指導	ア 学校・家庭・職場間の連携を密にし、基本的生活習慣を確立させ、主体的に生きる力を育成する。 イ 生徒理解を深め、教師と生徒との信頼関係を確立し、適切な個別指導に努める。 ウ 他を思いやる心と自らの心身をたくましく鍛える心の育成に努める。 ○ 教育相談をするための時間を計画段階から多くとって実践したことで、生徒個々の学校生活の不安について早期段階から解消し、望ましい学校生活を送る一助となった。	適切な評価をしている。
改善方策	・生徒指導技術の向上を目指した研修のさらなる充実を図る。	
進路指導	ア 社会的、職業的自立に向けて、各学年のキャリア教育を系統的・計画的に推進する。 イ インターンシップ等体験学習の機会の提供と参加の推進を図り、進路意識の向上を目指す。 ウ Fの時間を通じて、4年生へのキャリア教育を行う。	適切な評価をしている。 キャリア教育に外部の協力を依頼できないか。 指導が多様化する中で、計画的キャリア教育を確立してほしい。

	エ 外部機関等との連携を密にし、情報収集・情報発信を積極的に行い、教育活動に生かす。 ○ 新カリキュラムの完成や三修制・生徒数の増加等により、各学年の系統的・計画的なキャリア教育が推進できなくなっていた。	
改善方策	・進路相談員を始め外部の協力を仰ぎつつ、次年度より進路指導部を新設して系統的・計画的なキャリア教育を推進する。	
健康安全指導	ア 生命の尊さを基本に据え、健康安全指導の徹底を図る。 イ 体育的活動への積極的な参加を通し、体力向上を図る態度の育成に努める。 ウ 日常的に身体状況を把握させ、自己の健康管理の習慣を育成する。 エ 交通安全の啓発・事故防止の徹底に努める。 ○ 部活動が充実化し、体力のみならず心身の向上につながった。	適切な評価をしている。 部活動も盛んなことはとても良い。生徒の楽しみでもある部活動が盛んになったことは本当に喜ばしい。学業のやる気にもつながるかと思う。 バドミントン部の全道大会出場は素晴らしい。 部活が活発になることは定時制教育で望ましい成果だと思う。
改善方策	・命の尊さを啓発する活動については、今後も引き続きさらなる充実を図る。	
組織運営	校務分掌や学年団、委員会等の校内組織を効果的に運営する。 ○ 各分掌の業務を整理を行った。	適切な評価をしている。
改善方策	・進路指導部を新設し、よりわかりやすい業務分担とする。	
研 修	ア 授業や指定事業等及び健康安全指導の改善並びに新しい事象や課題等への対応に努める。 イ 校内の研修実施体制を整備する。 ○ ICT研修を年間3回実施し、校務や授業で実践できるようそれぞれの実践例などについても検討を重ねた。	適切な評価をしている。 ICT活用は、社会に出てすぐに必要になるため、引き続き研修を続けるべき。 ICT検収の3度にわたる実施についてはとても良い。 ICTへの対応は大変だと思うが、うまく対応できていると思う。
改善方策	・偏ることなく各分掌による研修を行っていく。	
保護者・地域との連携	ア PTAや関係団体との連携の充実に努める。 イ 地域の自然や文化財、専門家などの教育資源を活用する。 ○ H Pや各種通信を通じて周知に努め、十分とは言えない前年度に比べて理解は進んだ。また、各種講座や防災学校等においては、多くの地域人材にご協力を願い、本校定時制の教育活動を推進することができた。	適切な評価をしている。 周知をより徹底すべきである。 学校祭等を通じて、PTA・保護者の方に定時制と取組をより知ってもらいたいと思う。 連絡を取りやすくするためにSNSを活用してはどうか。 地域資源がうまく活用されている。 芸術鑑賞や地区生活体験発表大会などの取組がとても良い。 地域人材の活用に期待する。生きる力を学んでほしいと願う。 同窓会も協力は惜しまないので、今後も地域人材の活用に力を入れてほしい。
改善方策	・活動の充実以前に周知に力を入れる。また、今後とも地域人材の活用にはアンテナを広げて協力していただけるようにする。	

施設設備	施設設備の安全・維持のための取組に努める。 ○ 重点目標は概ね達成できた。事務室を中心として取り組むことができている。	適切な評価をしている。
改善方策	・引き続き、酷暑期の熱中症対策に向けた設備の拡充・有効活用に努める。	
そ の 他	ア 学校の状況を踏まえた重点目標等の設定が適切である。 イ 教育活動に関する生徒、保護者の満足度の把握に努める。 ウ 在校等時間の縮減を図り、自身の心身の健康に気を配り、ガイドラインやルールを遵守する。 ○ 重点目標は概ね達成できた。	適切な評価をしている。 定時制ならではの様々な問題点があるだろうが、先生方の努力が感じられた。
改善方策	・適切な重点目標等の設定に向けた議論を進める。 ・学校評価アンケートを通じて生徒・保護者の満足度の把握に努める。 ・適切な勤務時間を管理して、法令や規則を遵守しながら、教職員の健康を守る。	
公表方法	・自己評価の結果を全教職員及び学校評議員、PTA役員に公表するとともに、学校HPにも掲載した。	

3 添付資料

(1) 令和6年度学校関係者評価（学校評議員5名）		5 葉
(2) 令和6年度北海道室蘭栄高等学校定時制課程学校評価	教員用アンケート 集計	1 葉
(3) 令和6年度北海道室蘭栄高等学校定時制課程学校評価	保護者用アンケート 集計	1 葉
(4) 令和6年度北海道室蘭栄高等学校定時制課程学校評価	生徒用アンケート 集計	1 葉